

令和8年3月31日

令和7年度
関西医科大学 社会連携・社会貢献推進員会
活動報告書

目次

1. 活動期間	P 1
2. 委員構成	P 1
3. 本委員会の主な活動	P 1
4. 本学の令和7年度活動実績	P 2
5. 令和8年度に向けて	P 2

1. 活動期間

令和7年7月1日～令和8年3月31日

2. 委員構成

委員長

齋藤貴徳（社会貢献担当副学長）

委員

岡崎和一（香里病院 病院長）

菅俊光（総合医療センター 副病院長）

角田智彦（くずは病院 副病院長）

伊藤量基（医学部内科学第一講座 教授）

大川聡子（看護学部地域看護学領域 教授）

池添冬芽（リハビリテーション学部 教授）

藤原宏司（附属病院事務部 部長）

田中淳訓（総合医療センター事務部 部長）

杉上弘之（香里病院事務部 部長）

北口宏（くずは病院事務部 部長）

岡崎由紀夫（天満橋クリニック 事務長）

富田典幸（くずは駅中健康・健診センター 事務長）

出口育代（医学部事務部 部長）

増田倫明（看護学部事務部 事務長）

生島正也（リハビリテーション学部事務部 事務長）

宮口智明（総務部 部長）

矢島祥行（広報戦略室 部長）

上田晴之（研究部 部長）

奥田耕市（イノベーション・ベンチャー推進室 室長補佐）

椿井香織（国際化推進センター 係長）

3. 本委員会の主な活動

(1) 委員会の開催実績

- ・ 第1回社会連携・社会貢献推進委員会 令和7年10月20日開催
- ・ 第2回社会連携・社会貢献推進委員会 令和8年3月25日開催

(2) 規程の制定

- ・ 令和7年7月1日付「関西医科大学社会連携・社会貢献推進規程」施行内容は別紙1のとおり（但し、公開は学内限り）。

(3) 基本方針の策定

- ・ 令和7年12月1日付「学校法人関西医科大学 社会連携・社会貢献推進基本方針」策定内容は別紙2
[_\(<https://www.kmu.ac.jp/info/public/laaes700000z488-att/social.pdf>\)](https://www.kmu.ac.jp/info/public/laaes700000z488-att/social.pdf) のとおり。

(4) 本学ホームページへの社会貢献コンテンツの掲載

- ・ 本学ホームページに社会貢献及びSDGs取り組みに関する特設ページを設置し、基本方針および本学の取り組みを紹介する冊子を公開。冊子内容は別紙3
[_\(<https://www.kmu.ac.jp/info/public/laaes700000z488-att/a1763012667936.pdf>\)](https://www.kmu.ac.jp/info/public/laaes700000z488-att/a1763012667936.pdf) のとおり。

(5) 年度活動目標計画フォーマットの策定

- ・ 各部門における令和8年度活動目標計画のフォーマットを設定。内容は別紙4のとおり（但し、公開は学内限り）。

4. 本学の令和7年度活動実績

今年度、はじめて各部署・各部門が実施している社会貢献・SDGsの活動を基本方針に定める実践領域ごとに整理することを試みた。その結果、領域3「健康教育・啓発への貢献」や領域6「国際貢献」への取り組みは豊富であり、地域住民の健康意識の醸成や国際的な医療協力の向上に大きく貢献しているが、他方で領域4「災害医療への貢献」の取り組みが比較的少ないことが分かった。各部署・各部門における取り組みに関する活動一覧は別紙5のとおり（但し、公開は学内限り）。

5. 令和8年度に向けて

今後は各部署・各部門に対しより積極的な社会貢献活動を促していくとともに、本委員会としては学内の隠れた取り組みをピックアップしつつ、それらを含めて点検・評価していく必要がある。また、全国の高等教育機関の取り組み等を精査し、令和10年の創立100周年に向け、本学が何を目指し、どんな社会貢献等活動を進めていくかという方向性を示すとともに、各部署・各部門の活動に横串を刺して有機的な関連を持たすことを意識して取り組んでいくことが求められている。

以上